

第2期田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価検証シート

資料7

1.基本事項

基本目標	3 結婚・出産・子育て支援	担当課室名	農業振興課
具体的施策①	3-① 出会いの場づくり	役職・担当者名	
具体的施策②	3-①-1 結婚支援	内線	

2.年度ごとの目標数値

KPI指標名	結婚支援事業への参加者数						
目標値	単位	現状値(H30)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	人		39	39	40	40	40
実績値 (目標値)	単位	39	R2年度(実績値)	R3年度(実績値)	R4年度(実績値)	R5年度(実績値)	R6年度(目標値)
	人		0	0	27	27	

3.KPIを構成する主な事業とその実績

①	事業名	アグリパートナーサポート事業	区分・事業費	R5決算	500千円	担当課室	農業振興課
	事業内容	農家の未婚者にパートナーを紹介し結婚まで結びつけることにより、農業経営の安定化を図り、また将来の後継者不足解消を図る。					
	KPIとの関連性	結婚を希望する男女の出会いの場となるイベントを開催することで、結婚支援事業への参加者の増加が見込まれる。					
	事業実績 (効果)	令和2年度、令和3年度については新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。3年ぶりとなった昨年度に続いての開催。 参加者:男14人 女13人 計27人 カップル成立数7組(令和5年度:R6. 2. 24(土)開催)					
②	事業名		区分・事業費			担当課室	
	事業内容						
	KPIとの関連性						
	事業実績 (効果)						
③	事業名		区分・事業費			担当課室	
	事業内容						
	KPIとの関連性						
	事業実績 (効果)						
④	事業名		区分・事業費			担当課室	
	事業内容						
	KPIとの関連性						
	事業実績 (効果)						
⑤	事業名		区分・事業費			担当課室	
	事業内容						
	KPIとの関連性						
	事業実績 (効果)						

4.自己評価等

KPI達成または未達成の要因及びKPI達成に向けた担当課室評価(令和5年度末時点の状況)	
民間によるインターネットを活用した出会いの場の提供など様々な分野・形態で婚活事業が展開されている中、本事業については、男性参加者は農業者に限定しているため女性参加者を確保するのに非常に苦勞している。イベントの周知にあたり、様々な広報媒体を活用しているが、15人を確保するのがやっとの状況であり、目標達成出来なかったことはやむを得ないものとする。	
KPI達成に向けて改善すべき課題等とその理由	
女性の参加者を増やすためには、農業のイメージアップを図り、今よりさらに女性が参加しやすく魅力的なイベントにしていける必要がある。	
KPI達成に向けた今後の見通し(課題等を踏まえた施策の方向性)	
近年では民間によるインターネットを活用したオンラインによる出会いの場の提供など様々な分野・形態で婚活事業が展開されている。農業振興課所管のアグリパートナーサポート事業については、男性参加者は農業者に限定した婚活支援とあって、女性参加者の確保が難しくなっている。こうした状況にあるが、農業後継者不足解消の一助となるよう、今後もSNSなど様々な広報媒体を活用し、当地域が持つ自然環境や本市の基幹産業である農業の魅力を伝えながら事業を継続していきたいと考えている。	

5.外部有識者会議における意見

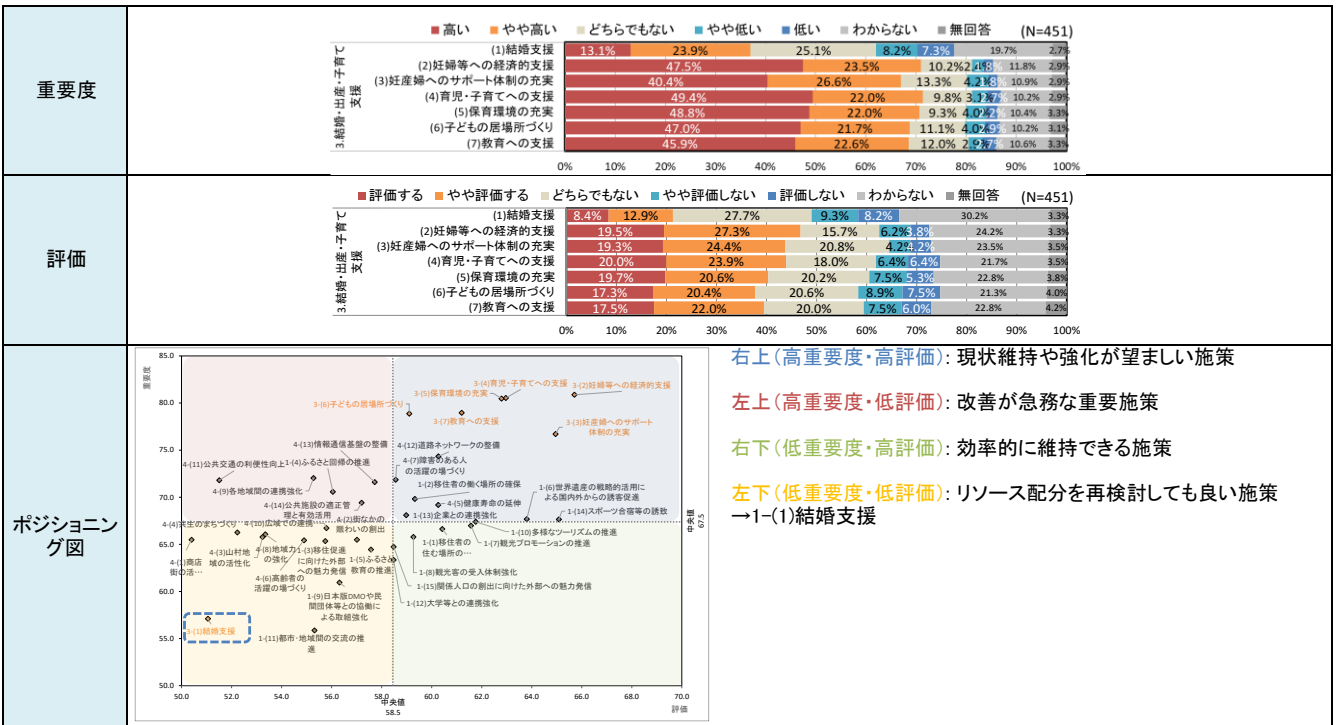
意見内容

6.庁内推進本部における意見

意見内容

7.アンケート調査結果

該当調査	結婚・出産・子育てに関するアンケート調査
参考資料	結婚・出産・子育てに関するアンケート調査
該当設問	調査全般
主な回答内容	<p>Q.現在の婚姻状況 A.「独身」の割合は全体の4割程度。現行の第2期総合戦略の策定時に実施した調査(以下、「前回調査」という)より、やや増加している。</p> <p>Q.求める結婚支援 A.「子育て支援事業の充実」が4割程度、「パートナーとともに働き続けられるような職場環境の充実(長時間労働の短縮等)」、「結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援」が3割程度を占めている。 ・結婚していない理由では「自分に合った相手に出会っていない」「出会う機会(場)がない」という回答が多かったが、求める支援では「出会いの場の提供」より、子育て支援や、資金貸与や補助支援、職場環境への要望が高い。 ・「出会いの場の提供」は、18歳～20代後半の若年層では割合が低く、40代で高くなっている。</p> <p>Q.結婚支援に対する具体的な支援内容のイメージやアイデア (出会いの場の提供について) 味光路のような飲食店街などを大きな会場とした婚活イベント／平日の婚活イベント(夜から)／龍神に住んでいるので出会いがない。何か良い手段はないか／仮想衣装を着て街コン、婚活イベントに登場、衣装選びが格段にレベルアップ／未婚者対象でアンケート調査を実施し結婚したい意向のある者にもっとアプローチして欲しい／漁師をしています、出会いの機会が無い。近場で行ける漁の体験、その後水揚げした魚で食事会等、魚好きの女性と出会いたい／年齢制限があると色々と考えてしまう／</p>



8.地域幸福度(Well-Being)指標【出典】2024年度版(令和6年度版)Well-Being 全国調査 <https://well-being.digital.go.jp/dashboard>

参考資料	第2期田辺市総合戦略の全体像と地域幸福度(Well-Being)指標の対応表
分析結果 コメント	—
分析結果	—

9.関係団体ヒアリング調査結果

該当団体	紀南農業協同組合
参考資料	関係団体ヒアリング結果まとめ
主な意見	・農業後継者への結婚支援が重要。農業振興課を中心にアグリパートナー事業(婚活イベント)を進めているが、結婚に至るカップルが少ない。
該当団体	田辺市水産活性化協議会
参考資料	関係団体ヒアリング結果まとめ
主な意見	・若年層が20-30代は3人と非常に少なく、農業と異なり、婚活イベントの需要は低い。

10.各種調査結果からの提案

各種調査結果からの提案
<p>・「結婚支援」は他基本目標と比較しても重要度・評価ともに低い。「求める結婚支援」の質問でも「出会いの場の提供」への希望は前回調査より低くなっており、要望のあった40代以上を対象とするなど、支援のあり方を再検討しても良い施策と考えられる。</p> <p>・出会いの場の提供としては、飲食店街を活用した婚活イベントの実施の他、漁業体験や農業体験を組み合わせた出会いの機会の提供が考えられる。</p>